

各会計に対する各会派の賛否

会 計	結 果	自 民	自・無	公 明	共 産	品 改	ネ ッ ト
一 般 会 計	認 定	賛 成	賛 成	賛 成	反 対	賛 成	賛 成
国民健康保険事業会計	認 定	賛 成	賛 成	賛 成	反 対	賛 成	反 対
後期高齢者医療特別会計	認 定	賛 成	賛 成	賛 成	反 対	賛 成	賛 成
介護保険特別会計	認 定	賛 成	賛 成	賛 成	反 対	賛 成	賛 成
災害復旧特別会計	認 定	賛 成	賛 成	賛 成	賛 成	賛 成	賛 成

日本共産党品川区議団

コロナ禍で区民の暮らしと営業・雇用は未曾有の危機に直面。この間補正予算を組み、当初は拒んでいた検査の拡充や中小企業等への直接支援に踏み出したことは評価するが、区民の苦境に比べ不十分。不要・不急の超高層開発や道路の見直し、あと16年もつ区庁舎の建て替え検討は延期し、税金は検査の抜本拡充・保健所の機能強化・医療支援、中小零細・個人事業主への支援の継続・拡充にあてるべき。福祉予算の10%マイナスシーリング・削減は止め、コロナ禍の下では福祉の拡充こそ必要。

◆PCR検査と保健所体制の抜本拡充を◆家賃支援給

付金、販路拡大助成金等は対象の拡大と継続的な給付を◆大学生への給付型奨学金を◆障害児者総合支援施設の指定管理者は、利用者の要望を最重要視し選定を◆複数の委員からも疑問の意見が出された超高層開発は見直しを◆職員採用時の性別記載の削除は一步前進。ジェンダー平等へ更なる取り組みを◆一日も早い少人数学級の実現へ、加配教員の活用や教室、学校の増設を◆学校司書配置、介助員・学習支援員の拡充を◆自衛隊機の飛行、固定化回避検討会は新ルートを前提としているなど、新たな重大事実が判明した羽田新ルートは中止を求めよ。

品川改革連合

令和元年度の一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療と介護保険と災害復旧特別会計の各歳入・歳出決算を認定します。本年度も歳入増に恵まれ収支は57億円の黒字となり健全財政を維持しています。しかしコロナ感染問題の影響で基幹産業を含む大半の国内産業は売上げの急落で赤字に陥るなど倒産・休業業や解散も増大し日本沈没の様相を呈しています。正規・非正規雇用者や派遣職員などは、解雇・雇止め・勤務時間を削減されたり残業も減り、給与・ボーナスもカットされ所得は減る一方です。また失業者と休業者は合計で数百万人

もいるので消費の回復は見込めません。政府・日銀の財政・金融政策で、資金繰り倒産は抑制されていますが、このまま社会活動や消費活動の停滞が続けば、廃業が増大しさらに多くの失業者と貧困層が増えてしまうので企業が存続できる支援をして頂きたい。またこのさき歳入激減が見込まれるので行財政改革を推進し感染拡大を防ぎ、コロナ以外の病気からも区民の健康を守りながら社会経済活動をおし進め、この地球規模の非常事態を乗り越えて頂きたい。そして羽田新飛行ルートの固定化を避けるために、これからも国に働きかけて頂きたい。

品川・生活者ネットワーク

新公会計制度への移行は未だ途上です。議会の決算審査の向上のためにも一刻も早い制度整備を求めます。まちづくり政策を進める際に、区民への説明と意見聴取の機会と情報開示を積極的に行うよう強く求めます。保育士の処遇改善は質の確保に繋がります。区は認可園へ適正運営を促し監督責任を果たすよう強く求めます。国は、再び放射性物質を広げかねない放射能汚染水の海洋放出や汚染土壌活用事業を進めています。給食放射能測定は継続と拡充、検査方法の転換を改めて求めます。バリアフリー施策を進め、共生社会の実現を求めます。

気候変動による水災害対策として、現状の雨水流出抑制施策に加えたさらなる事業の拡充を求めます。住民は羽田新ルートに納得していません。健康被害や体調不良を訴える区民の声を受け止め、調査を行い記録し国に対応を求めべきです。できないのであれば、区として品川上空低空飛行を認めないと主張すべきです。人と接触機会が多い職種にPCR検査の拡充と、感染症の影響から生活が苦しかった人へ支援強化を求めます。就学前の子どもは例年の活動ができていません。円滑に学校生活が始められるよう関係各所の連携を求めます。

令和元年度決算に対する各会派の意見表明

※各会派から提出されたものを原文のとおり掲載しています。

品川区議会自民党

令和元年度は、普通会計の実質収支は約51億円の黒字となり、経常収支比率は75.7%、人件費率は13.6%と健全財政を維持していることを評価します。そして基金残高も1,000億円超を維持しています。コロナ禍の中ではありますが、引き続き区民の福祉・生活の維持向上に努められることを要望します。

今決算特別委員会において、我が会派議員が区民の皆様や各種団体等から頂いた声をまとめた上、指摘・政策提言をいたしました。何点かここで取り上げます。

基金の積極的な活用、庁舎改築を含めた広町開発、特

別区民税・財調減への対応、保育の無償化による在宅子育てママの居場所作り、外国人を含めた介護人材不足への対応、プレミアム商品券の継続支援、ケーブルTVで健康体操の放映、品川のシンボルとして「しながわ水族館」の改築、八潮南特別養護老人ホームの改築、旧東品川清掃作業所の将来計画、GIGAスクールの実現・充実、障害者施策の充実、就労支援拡大、避難所・福祉避難所の充実など、令和3年度品川区の予算、事務事業に反映され実現して頂くことをお願いし、品川区議会自民党の意見表明とします。

自民・無所属・子ども未来

自民・無所属・子ども未来は、令和元年度の品川区一般会計、同国民健康保険事業会計、同後期高齢者医療特別会計、同介護保険特別会計、同災害復旧特別会計の各歳入歳出決算を認定します。令和元年度の日本経済は緩やかな回復が続いたものの、自然災害や消費税率の引き上げにより実質経済成長率が0.04%の減、区の歳入においても区財政の根幹をなす特別区民税が対前年比5.7%の増、一方で財政調整交付金は7.9%の大幅減、一般財源全体では0.6%の減となった。普通会計の実質収支は51億円の黒字、経常収支比率は75.7%、人件費比率は13.6%

%であり、引き続き健全財政が維持され区政運営が行われている状況を確認した。

一方、コロナ禍での社会経済等、世の中の大きな変革が求められている。福祉、子育て、産業振興、防災街づくり、都市環境、教育等、区民生活における「新しい品川区のかたち」の創出が急務と考える。

本委員会で会派所属の各委員が発言した指摘や政策提案が、今後の事業遂行に十分に反映され、予算編成を始めとする区政運営が区民福祉の一層の向上に寄与することを強く求め意見表明と致します。

品川区議会公明党

区民サービスでは、学校体育館空調整備、障害児者総合支援施設開設、居住支援協議会設立、保育園拡充、小中学生へのインフルエンザ予防接種費用助成、コミュニティバス検討、橋梁ライトアップ、教員負担軽減等、防災、福祉、健康、産業、まちづくり、教育の各分野で、会派提案が積極的に展開された。決算特別委員会での指摘・提案、緊急要望、予算要望を十分に検討し、今後の区政運営及び来年度予算へ反映されるよう求める。

令和元年度に導入された消費税軽減税率や幼児教育無償化が区民生活を支えている一方、コロナの影響と実体

経済の低迷により、特に、身体的・精神的、経済的基盤の弱い区民・事業者を念頭にいたきめ細かな、寄り添った施策展開に積極的に取り組んでいただきたい。来年度予算の編成にあつては、福祉的サービスの質・量は確実に確保した上で、感染対策や弱い立場の方々への支援を躊躇なく行うために必要な財源の捻出を要望する。

感染防止策と区民生活・経済活動の継続・活性化の両立を図ることが当面の取り組みとなるが、区民の安全安心へ、力強く区政が邁進されることを願い、公明党も惜しみない努力、協力をするを表明する。